

# 企業として、いま、社会に伝えたいメッセージ

## 宝島社 企業広告 10/24(月) 掲載

「世界を敵にまわして、  
生き残ったヤツはいない。」

ファッション雑誌販売部数トップシェア(※)の株式会社宝島社(代表取締役社長:蓮見清一、本社:東京都千代田区)は、2022年10月24日(月)に、企業広告「世界を敵にまわして、生き残ったヤツはいない。」を読売新聞朝刊(全国版)、朝日新聞朝刊(全国版)に掲載します。

弊社では、商品だけでは伝えきれない“企業として社会に伝えたいメッセージ”を、企業広告を通してお伝えしたいという思いで、1998年より企業広告を開始しました。これまでに数々の広告賞をいただいております、Yahoo!ニュースのトップに掲載されるなど、さまざまなメディアで取り上げられ、反響を呼んでいます。

宝島社は今後も、企業として社会に伝えたいメッセージを、企業広告を通して世の中にお伝えしてまいります。

※日本ABC協会 雑誌発行社レポート2021年下半期(7~12月)より

「世界を敵にまわして、生き残ったヤツはいない。」



### 【掲載媒体】

●10/24(月)

読売新聞朝刊(全国版)、朝日新聞朝刊(全国版)

見開き 全30段

### 【広告意図】

今日も、地球上で悲惨な戦争や紛争が続いています。

政治上の都合によって、日常を突然奪われてしまう人々が絶えません。

人類は、いつまで同じ過ちを繰り返すのでしょうか。

「早期の戦争終結を。そして、世界に平和を。」という切なる願いを、

国連デーであり、国連軍縮週間にあたる10月24日に強く訴えます。

宝島社のこれまでの「広告」の一部を紹介します。～「商品」では伝えきれないメッセージを「広告」で～  
<https://tki.jp/company/ad>

2022年1月

企業広告「男でも、首相になれるの？」

【受賞】

2022 朝日広告賞（出版部門賞）



2021年1月

企業広告「ねちよりんこ、ダメ。」「言われなくても、やっています。」

【受賞】

2021 朝日広告賞（準朝日広告賞）



2021年1月

企業広告「暴力は、失敗する。」

【受賞】

2021 日経広告賞（出版・コンテンツ・教育部門 優秀賞）



2016年1月

企業広告「死ぬときぐらい好きにさせてよ」

【受賞】

2016 読売広告大賞（グランプリ）

2015 朝日広告賞（グランプリ）

2015 朝日新聞読者賞

2016 日本新聞協会 新聞広告賞（広告主部門・本賞）

2016 ADC賞

2016 TCC賞

2016 読売出版広告賞（審査員特別賞）

2016 JAA広告賞（新聞広告部門 メダリスト）

2016年度 グッドデザイン・ベスト100

2017 JAGDA賞



宝島社のこれまでの「広告」の一部を紹介します。～「商品」では伝えきれないメッセージを「広告」で～  
<https://tki.jp/company/ad>



2009年

企業広告

「女性だけ、新しい種へ。」

【受賞】

- 2009 朝日広告賞(準朝日広告賞)
- 2010 毎日広告デザイン賞(最高賞)



2003年

企業広告

「生年月日を捨てましょう。」

【受賞】

- 2003 朝日広告賞(出版・学校部門賞)
- 2004 読売出版広告賞 金賞
- 2003 毎日広告デザイン賞(出版部門賞)
- 2003 日刊スポーツ アドグランプリ (カラー広告部門 インパクト賞)
- 2003 広告批評年間ベストテン 新聞3位
- 2003 スポニチ広告大賞(カラー部門 優秀賞)
- 2004 グッドデザイン賞(コミュニケーションデザイン部門)

2002年

企業広告

「国会議事堂は、解体。」

【受賞】

- 2002 朝日広告賞(朝日広告賞)
- 2002 毎日広告デザイン賞
- 2002 日経広告賞(部門賞)
- 2002 TCC賞
- 2002 ADC賞
- 2002 読売広告大賞 金賞
- 2004 グッドデザイン賞(コミュニケーションデザイン部門)

1998年

企業広告

「おじいちゃんにも、セックスを。」

【受賞】

- 1998 朝日広告賞(準朝日広告賞)
- 1998 毎日広告デザイン賞(優秀賞)
- 1998 読売出版広告賞(書籍部門賞)

